

コーディネーターニュース

私なりにまとめたRI戦略計画とその実行

公共イメージコーディネーター補佐 **鈴木秀憲**
(吹上RC)

2001-02年度、国際ロータリーは奉仕の第2世紀を迎え、組織を導く長期的な計画の立案を始めました。「The RI Strategic Plan」当初は長期計画と和訳され、昨今は戦略計画と訳されます。

以来この戦略計画は定期的に見直され、更新されています。(Strategic Planの直訳は戦略計画です。長期計画の方が理解しやすいと感じますが、戦略計画とした方が、重要性が高いと感じる様な気がします。) 2009年、RI理事会はこの大幅な見直しを行い、RIとロータリー財団が進むべき進路が一致するように改訂し2010年7月1日から有効としています。

2015年3月30~31日に行われた会員基盤向上セミナーで、ロータリーコーディネーターの金杉誠氏に伺ったお話(RI戦略項目の3つの項目は夫々関連性を持っている)に、自分の考えを加えてまとめました。

RI戦略計画は、3つの優先項目と5つの中核的価値観で構成されます。

【3つの優先項目】

○クラブのサポートと強化

(ロータリーコーディネーターが支援)

○人道的奉仕の重点化と増加

(ロータリー財団地域コーディネーターが支援)

○公共イメージと認知度の向上

(公共イメージコーディネーターが支援)

注目すべき点は、3つの項目は夫々関連性を持っているという事です。

即ち、人道的奉仕をすれば(結果として、世間の関心と評価は高まり)自ずと公共イメージが上がります。公共イメージが上がると(賛同者が増え、会員増強に繋がり)クラブのサポートと強化に繋がります。クラブが強化されれば(会員が増強されれば)人道的奉仕が更に進み、その結果公共イメージは上がり、会員が増え、クラブは強化されます。つまり、良い循環になるという事です。

この循環は、優先項目の何処から始めても(結果として)良い循環になります。大切な事は、先ず自ら

始めるという事だと思います。

3つの優先項目には、具体的な目標が全部で16項目明示されています。どれも実現可能な事ばかりです。着手し易い身近な事から始めましょう。

先ずは自分自身が公共イメージの向上を

公共イメージは他人に云われて認識されるものではありません。世間の方々が我々の言動を見て、良いと感じて下さる結果です。

我々の言動とは抽象的な表現ですが、具体的には戦略計画を構成している5つの中核的価値観を、ロータリアン個々が大切に磨き、実行する事であると思います。

○奉仕

私達ロータリアンの重要な要素です。RIを通じて、或いは地区で、或いはクラブで、若しくは個人で奉仕する喜びを実感しましょう。

○親睦

ここで指す親睦は、単なる飲み食いや遊びによる親睦だけでは無く、奉仕を共に行う事によって心の底から得られる親睦です。場合によっては民族や国家をも超えて得られるものも有ると思います。

○多用性

私達の生き方は様々です。職業も色々です。環境も仕組みも色々あります。自分の考えや身近の方々の考えだけでは無く、多種の方々の存在や考えを認め、理解し合う事が大切です。地域や国を超えて理解し合う事で、自分自身の世界も広がると考えます。

○高潔性

ロータリアンは、仕事に於いても、人間関係に於いても常に高い倫理観を以って活動しています。これは他人に押し付けるものでは無く、自分で実践するのみです。黙っていても他人は観ています。

○指導力

ロータリアンは、夫々が夫々の分野に於いて優れたリーダーです。

指導力を更に磨き、ロータリー活動に、或いは職業の場で、或いは地域社会に於いて、この指導力を遺憾無く発揮しましょう。

最後に会員増強について一言

会員増強は、どんな組織にとっても必要な事です。しかし、大切な事は、会員増強を会員数が少ないからと云う組織の都合で行うのではなく、ロータリーへ入会して頂いて「私達と一緒に良い事をしましょうよ。」と云う気持ちやお誘いの呼びかけが無くてはならないという事です。

○ロータリーに入会すると

- ・素晴らしい考えや実績を持つ方々との出会いがあります。
- ・自分や職業を高める機会を得られます。
- ・自分の住む地域に貢献する行事に、参加する事が出来ます。
- ・世界に於いて、困っている事を解決する行事に参加する事が出来ます。

こんな考えで、共に奉仕できるメンバーをお誘い頂きたいと考えます。